



橋本淳司さんの



1480円(税別) 技術評論社

口にしてしている食べ物も、生産の過程で多くの水を使う。カレー1人分をつくるのにコメの生産から考えると全部で110杯分、ハンバーグに180杯分もの水が使われている。

くらしの中の水の大切さを改めて教えてくれる。

くらし本

水バケツ1杯命の「単位」

均25杯も使っている。何気なく

トイレの水から食事の水、世界の水事情まで、水を巡るあれこれをバケツ1杯(10リットル)を基準に考える。各地の小学

校などで「水の授業」を実践するジャーナリストの橋本さんが、「水の大切さや賢い使い方を考えてほしい」と執筆

した。

バケツ1杯の水は、人間が、最低限の衛生を保ちながら1日生活するのに必要な量。「いわば命の基本単位。これで水

の世界を切り取ると、様々な問題が見えてきます」。世界にはバケツ1杯以下での生活を強いられている人々もたくさんいるが、日本人は1日平均